# ゼロトラスト導入状況
# 意識・実態調査報告 2023

ゼロトラストアライアンス・ジャパン

# プロフィール

ZTAJ事務局にて、ゼロトラストの理解や普及に向けた情報発信や調査、検証を担当。
企業内ITシステムの設計、構築、教育、運用、保守を行う株式会社アクシオにて、企画室に所属。プロダクトやサービスの調査、宣伝、広報等、マーケティング業務に従事。

※ゼロトラストアライアンス・ジャパン（ZTAJ）のWebサイト　https://ztaj.jp/
　株式会社アクシオのWebサイト　https://www.axio.co.jp/

ゼロトラストアライアンス・ジャパン事務局（以下ZTAJ事務局）
株式会社アクシオ　企画室　マネージャー　吉田史崇

# 調査方法について

ゼロトラストアライアンスジャパン事務局が、事前調査と本調査を各1回行いました。期間は2023年10月から11月。
日本在住者14000名を対象に、オンラインにて事前調査を実施。内、従業員数100名以上の企業に在籍中で、情シスまたはセキュリティ管理部門のいずれかへの所属者、合計400名を対象として本調査を実施。

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# アンケート作製にあたって

本調査の設問内に記載されているゼロトラストを構成する要素は、2022年6月発表資料「ゼロトラスト移行のすゝめ」（IPA：独立行政法人情報処理推進機構産業サイバーセキュリティセンター）を参考に作成しました。

（2023年12月時点）

https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core_human_resource/final_project/2022/ngi93u0000002ko3-att/000099778.pdf　PDF

https://www.ipa.go.jp/jinzai/ics/core_human_resource/final_project/2022/zero-trust-mgn.html　URL

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# アンケート対象者　基本属性

# アンケート対象者　基本属性　業種

| 業種 | n=13763　個数 / 業種 |
|---|---|
| 製造業 | 2888 |
| 医療・福祉 | 1507 |
| サービス業 | 1480 |
| その他 | 1274 |
| 運送・輸送業 | 1148 |
| 商社・卸売り・小売業 | 1129 |
| 建設業 | 1052 |
| 情報通信業 | 731 |
| 金融・証券・保険業 | 697 |
| 非営利団体 | 426 |
| 教育業 | 353 |
| 不動産業 | 342 |
| 電気・ガス・水道業 | 267 |
| 農業・林業・漁業・鉱業 | 158 |
| メディア・マスコミ・広告業 | 154 |
| 出版・印刷業 | 125 |
| 調査業・シンクタンク | 32 |
| | 13763 |

# アンケート対象者　基本属性　事業規模別所属部署

回答者数（n＝13763）
回答数　（n＝14724）
※部署は複数回答（兼務）可

# アンケート対象者　基本属性　事業規模別所属部署　割合

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 報告A　ゼロトラスト認知・認識

# 所属部署別"ゼロトラスト"認知度 2023

回答者数（n＝13763）
回答数　（n＝14724）
※部署は複数回答（兼務）可

左　従業員数< 100
右　従業員数≧100

# 所属部署別"ゼロトラスト"認知度 2023

回答者数（n＝13763）
回答数　（n＝14724）
※部署は複数回答（兼務）可

左　従業員数< 100
右　従業員数≧100

"ゼロトラスト"認知度調査業種別　割合/従業員規模100名以上社勤務 2022 - 2023
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
営業
製造
カスタマー・接客
マーケティング・広報
総務・経理・人事
情シス（IS）
社内SE
DX推進…
セキュリティ管理…
その他
よく知っている
知っている
概ね知っている
あまり知らない
聞いたことが無く、全く知らない

左　2022
右　2023

"ゼロトラスト"認知度調査業種別　割合/従業員規模100名未満社勤務 2022 - 2023
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
営業
製造
カスタマー・接客
マーケティング・広報
総務・経理・人事
情シス（IS）
社内SE
DX推進…
セキュリティ管理…
その他
よく知っている
知っている
概ね知っている
あまり知らない
聞いたことが無く、全く知らない

左　2022
右　2023

報告A-2　ゼロトラスト認知・認識

どの業種×職種に変化が見られたか　2022-2023比較

3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種

# アンケート対象者　基本属性　業種

| 業種 | n=13763　個数 / 業種 |
|---|---|
| 製造業 | 2888 |
| 医療・福祉 | 1507 |
| サービス業 | 1480 |
| その他 | 1274 |
| 運送・輸送業 | 1148 |
| 商社・卸売り・小売業 | 1129 |
| 建設業 | 1052 |
| 情報通信業 | 731 |
| 金融・証券・保険業 | 697 |
| 非営利団体 | 426 |
| 教育業 | 353 |
| 不動産業 | 342 |
| 電気・ガス・水道業 | 267 |
| 農業・林業・漁業・鉱業 | 158 |
| メディア・マスコミ・広告業 | 154 |
| 出版・印刷業 | 125 |
| 調査業・シンクタンク | 32 |
| | 13763 |

# 認知ポイント向上_TOP10 ｜ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種 ｜ 事業規模100名以上 2022-2023

# 報告A　ゼロトラスト認知・認識

## まとめ

昨年に続き、

1. 事業規模（従業員数）が大きいほどゼロトラストセキュリティへの関心が高い

2. 事業規模で比べた際に差異が大きいのは　「DX推進」、「社内SE」、「セキュリティ管理」に属する部署

昨年から本年の変化

3.従業員数100名以上の組織において、

　「DX推進」部署にてゼロトラストの認知の深度が上がり、「社内SE」にて認知が広がった。

4.従業員数100名未満の組織において、「DX推進」部署にてゼロトラストの認知が広がった

## 考察

・ゼロトラストセキュリティに関する認知・認識の広さ、深さを3業種間で比べると、「製造業」＞「サービス業」＞「医療・福祉」の順になり、「医療・福祉」は他業種と比べると認知・認識のポイントが相対的に低い傾向がみられる。昨年から今年にかけて「医療・福祉」業種における認知ポイントが上昇した要因の一つには、医療機関におけるセキュリティインシデントの発生が考えられる。

# 本調査

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 本調査　アンケート対象者　基本属性

所属部署別"ゼロトラスト"認知度 2023
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
57%
23%
9%
4%
6%
59%
23%
7%
5%
5%
57%
21%
8%
6%
8%
29%
20%
20%
13%
18%
53%
22%
10%
7%
8%
21%
21%
18%
18%
23%
14%
18%
22%
15%
30%
16%
15%
15%
14%
40%
41%
17%
10%
9%
23%
76%
17%
4%
営業
製造
カスタマー・顧客
マーケティング・広報
総務・経理・人事
情シス（IS）
社内SE
DX推進…
セキュリティ管理…
その他
よく知っている
知っている
概ね知っている
あまり知らない
聞いたことが無く、全く知らない

# アンケート対象者　基本属性　事業規模別所属部署

回答者数（n＝13763）
回答数　（n＝14724）
※部署は複数回答（兼務）可

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 報告B　クラウド・オンプレ利用状況

# システム導入数　従業員数別

| N | 規模（名） | クラウド平均 | オンプレ平均 | クラウド不偏分散 | オンプレ不偏分散 |
|---|---|---|---|---|---|
| 203 | 全体 | 39.7 | 39.9 | 18395.48017 | 15490.9501 |
| 58 | 5000～ | 62.2 | 64.2 | 36391.93466 | 26584.41258 |
| 27 | 2000～ | 82.6 | 65.3 | 36882.33333 | 31813.06268 |
| 65 | 500～ | 26.4 | 33.8 | 8206.177885 | 10407.78221 |
| 33 | 200～ | 12.0 | 9.5 | 560.592803 | 336.4450758 |
| 20 | 100～ | 5.9 | 5.1 | 44.41052632 | 47.41842105 |

※システム（アプリ、ツール、サービス含む）

# オンプレシステム及びクラウド利用数の傾向に関して 2022-2023

有効回答数
N=400

# オンプレシステム及びクラウド利用数の傾向に関して 2022-2023

有効回答数
N=399

# システムの管理状況に関する質問　2022-2023

有効回答数
N=400

# 報告B　クラウド・オンプレ利用状況

## まとめ

昨年に続き、大まかな傾向に変化はない。数値の変動に関しては、下記。

1.事業規模が大きいほどシステム数は増える傾向がみられる

2.クラウドシステムは平均39.7個、オンプレシステムは平均39.9個

3.クラウドシステムは7割前後の方が増加傾向にあると回答、オンプレシステムは3割前後の方が増加傾向にあると回答
　一方、オンプレシステムは減少傾向にあるとの回答が2.5割

4.クラウドとオンプレが置き換わる傾向に関しては、クラウドからオンプレに置き換わるとの回答が3.5割、オンプレから
　クラウドに置き換わるとの回答が2.5割

5.「クラウド利用に関する明確な社内ルール」に関しては、「ある」が6割、「ない」が4割

## 考察（注意点）

1.IT戦略、セキュリティ戦略が異なるため、クラウド・オンプレ戦略も各社各様。

2.クラウドシステム数（システム数）が増加する傾向にある中で、クラウド利用に関して明確なルールが存在しない状況は
　リスクとなり得る。また、利用状況、サービス内容は日々更新されるため、今一度、ポリシーやルールの再確認を。

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 報告C　ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

# 設問内容について

IPA（情報処理推進機構）産業サイバーセキュリティセンターから示された文書、”ゼロトラスト移行のすゝめ”（2022年6月時点）ではゼロトラストを構成する重要な要素を以下5つに分類しています。

1. ID統制　（例 ID管理、SSO、アクセスコントロール）
2. デバイス統制・保護（例 デバイスの機能制限、紛失時の対応、ポリシーやアプリケーションの一斉配布、マルウェア検知・遮断、監視機能、攻撃を受けた後の対応）
3. ネットワークセキュリティ　（例 アプリケーション単位の接続制御、アクセス制限、SSL復号機能、マルウェアの検知、シャドーITの可視化、同一SaaS内での組織用と個人用のテナントを識別）
4. データ漏えい防止　（例 機密情報の不正な取り扱い防止、機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御）
5. ログの収集・分析　（例 あらゆる機器からのログ集約と可視化、収集したログの分析）

各要素それぞれに対する認識をお答えください。

# ゼロトラストセキュリティ各構成要素に関する意識調査　2022-2023

有効回答数　N=400

## 導入状況各｜要素別　2022-2023

有効回答数
N=400

## 導入状況｜要素別　2023

報告C-2　ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

5業種　導入、未導入比率

医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険

医療・福祉
サービス業
製造業
情報通信業
金融・証券・保険業
0%
50%
100%
1-1.ID統制　クラウドを対象…
1-2.ID統制　オンプレを対象…
1-3.ID統制　特権ID管理
1-4.ID統制　クラウドを対象…
1-5.ID統制　オンプレを対象…
1-6.ID統制　アクセスコント…
2-1.デバイス　機能制限
2-2.デバイス　紛失時の対応
2-3.デバイス　ポリシーやア…
2-4.デバイス　マルウェア検知
2-5.デバイス　監視機能
2-6.デバイス　ネットワーク…
3-1.ネットワークセキュリ…
3-2.ネットワークセキュリ…
3-3.ネットワークセキュリ…
3-4.ネットワークセキュリ…
3-5.ネットワークセキュリ…
3-6.ネットワークセキュリ…
4-1.データ漏えい防止　機密…
4-2.データ漏えい防止　機密…
5-1.ログの収集・分析　あら…
5-2.ログの収集・分析　収集…
n=18 n=17 n=17 n=19 n=18 n=18 n=19 n=19 n=18 n=18 n=18 n=18 n=19 n=19 n=19 n=19 n=19 n=20 n=19 n=19 n=19 n=20
n=43 n=44 n=44 n=44 n=44 n=44 n=45 n=46 n=45 n=45 n=45 n=45 n=46 n=45 n=44 n=47 n=45 n=44 n=47 n=47 n=45 n=45
n=49 n=52 n=51 n=51 n=52 n=51 n=49 n=50 n=50 n=49 n=48 n=47 n=49 n=49 n=52 n=51 n=50 n=50 n=50 n=51 n=52 n=50
n=102 n=98 n=98 n=99 n=97 n=100 n=102 n=102 n=101 n=105 n=104 n=104 n=105 n=106 n=102 n=107 n=100 n=98 n=106 n=105 n=102 n=102
n=12 n=12 n=12 n=12 n=12 n=12 n=13 n=13 n=12 n=12 n=13 n=13 n=12 n=12 n=12 n=12 n=12 n=12 n=13 n=13 n=12 n=12
導入済　未導入

# 報告C　ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査

## まとめ

昨年に続き、

1. 【重要度】調査結果　スコア順位は

　1位「データ漏えい防止」、 2位「ネットワークセキュリティ」、続いて「ID統制」、「デバイス統制・保護」、

　5位が「ログの収集・分析」

2.【実態】調査結果　ゼロトラストセキュリティの重要5要素（22項目）、導入が6割、未導入が2割、未把握が2割
昨年から本年の変化
3.【導入項目順位】結果　1位「ネットワークセキュリティ アプリケーション単位の接続制御」、
最も導入率が低い項目は、「ネットワークセキュリティ　テナント識別」

## 考察

・2022年レポート内、「導入計画中」または「調査中」としてポイントの高かった「ID統制」関連の項目の導入率の向上が見て取れた。

・「医療・福祉」業種においては、各要素に関する対策実施率が他の業種と比べ低いため、今後も注視が必要。

・「データ漏洩_機密情報の不正な取扱い防止」、「デバイス管理_機能制限」は、多くの業種において導入が優先される傾向が見て取れた。

・重要度意識調査「ログの収集・分析」に関しては、収集・分析する目的によって、重要度スコアが上昇すると想定される。

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 報告D　ゼロトラストセキュリティ5要素
# 導入状況別　今後の予定

# 導入状況 | 要素別

1-1.ID統制　クラウドを対象としたID管理
1-2.ID統制　オンプレを対象としたID管理
1-3.ID統制　特権ID管理
1-4.ID統制　クラウドを対象としたSSO
1-5.ID統制　オンプレを対象としたSSO
1-6.ID統制　アクセスコントロール
2-1.デバイス　機能制限
2-2.デバイス　紛失時の対応
2-3.デバイス　ポリシーやアプリケーションの一斉配布
2-4.デバイス　マルウェア検知
2-5.デバイス　監視機能
2-6.デバイス　ネットワーク隔離やプロセス中断
3-1.ネットワークセキュリティ　アプリケーション単位の接続制御
3-2.ネットワークセキュリティ　悪質なWEBコンテンツへのアクセス制限
3-3.ネットワークセキュリティ　SSL復号機能
3-4.ネットワークセキュリティ　マルウェアの検出
3-5.ネットワークセキュリティ　シャドーITの可視化
3-6.ネットワークセキュリティ　テナント識別
4-1.データ漏えい防止　機密情報の不正な取り扱い防止
4-2.データ漏えい防止　機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御
5-1.ログの収集・分析　あらゆる機器からのログ集約と可視化
5-2.ログの収集・分析　収集したログの分析
導入済＆改修計画中
導入済＆調査中

# 導入状況｜要素別

1-1.ID統制　クラウドを対象としたID管理
1-2.ID統制　オンプレを対象としたID管理
1-3.ID統制　特権ID管理
1-4.ID統制　クラウドを対象としたSSO
1-5.ID統制　オンプレを対象としたSSO
1-6.ID統制　アクセスコントロール
2-1.デバイス　機能制限
2-2.デバイス　紛失時の対応
2-3.デバイス　ポリシーやアプリケーションの一斉配布
2-4.デバイス　マルウェア検知
2-5.デバイス　監視機能
2-6.デバイス　ネットワーク隔離やプロセス中断
3-1.ネットワークセキュリティ　アプリケーション単位の接続制御
3-2.ネットワークセキュリティ　悪質なWEBコンテンツへのアクセス制限
3-3.ネットワークセキュリティ　SSL復号機能
3-4.ネットワークセキュリティ　マルウェアの検出
3-5.ネットワークセキュリティ　シャドーITの可視化
3-6.ネットワークセキュリティ　テナント識別
4-1.データ漏えい防止　機密情報の不正な取り扱い防止
4-2.データ漏えい防止　機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御
5-1.ログの収集・分析　あらゆる機器からのログ集約と可視化
5-2.ログの収集・分析　収集したログの分析
未導入＆導入計画中
未導入＆調査中

## 導入状況 | 要素別

1-1.ID統制　クラウドを対象としたID管理 28 27 8 10 96
1-2.ID統制　オンプレを対象としたID管理 29 28 13 13 96
1-3.ID統制　特権ID管理 38 29 14 10 95
1-4.ID統制　クラウドを対象としたSSO 35 27 16 14 94
1-5.ID統制　オンプレを対象としたSSO 31 41 19 15 99
1-6.ID統制　アクセスコントロール 40 27 12 10 92
2-1.デバイス　機能制限 27 31 8 11 88
2-2.デバイス　紛失時の対応 39 33 11 11 88
2-3.デバイス　ポリシーやアプリケーションの一斉配布 30 30 10 13 92
2-4.デバイス　マルウェア検知 34 26 9 12 89
2-5.デバイス　監視機能 30 29 12 9 88
2-6.デバイス　ネットワーク隔離やプロセス中断 27 26 15 9 90
3-1.ネットワークセキュリティ　アプリケーション単位の接続制御 30 27 8 12 88
3-2.ネットワークセキュリティ　悪質なWEBコンテンツへのアクセス制限 29 28 9 9 85
3-3.ネットワークセキュリティ　SSL復号機能 23 29 12 11 91
3-4.ネットワークセキュリティ　マルウェアの検出 36 31 11 12 81
3-5.ネットワークセキュリティ　シャドーITの可視化 23 36 13 14 95
3-6.ネットワークセキュリティ　テナント識別 13 30 13 18 94
4-1.データ漏えい防止　機密情報の不正な取り扱い防止 40 27 10 14 82
4-2.データ漏えい防止　機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御 30 36 13 13 80
5-1.ログの収集・分析　あらゆる機器からのログ集約と可視化 31 30 9 15 87
5-2.ログの収集・分析　収集したログの分析 27 27 14 15 87
0
50
100
150
200
導入済＆未検討
導入済＆予定は未把握
未導入＆未検討
未導入＆予定は未把握
導入状況未把握

# 報告D 導入状況別　今後の予定

## まとめ

1. 導入実態と関心度の高さは、「ID統制　クラウドを対象としたID管理」
   次いで、「機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御」、「ネットワークセキュリティ　マルウェアの検知」
2. 新規導入予定として多いのは、「ID統制　アクセスコントロール」
   次いで、「ネットワークセキュリティ（テナント識別）」
3. 「ID統制（オンプレを対象としたSSO）」「ネットワークセキュリティ（テナント識別）」　機能に対しては、
   「未検討」「未把握」のスコアが高い

## 考察（注意点）

1.「ネットワークセキュリティ（テナント識別）」に関しては、“新たな導入計画や検討”スコアが高い。一方、昨年に続き“未検討・未把握”スコアも高い。同一サービスへの別アカウントでの利用がリスクとなり得ることが示唆される。セキュリティポリシーと合わせご確認を。
2.昨年からの変化として、「ID統制　特権ID管理」の未把握スコアが相対的に低下し、望ましい傾向。また、「ID統制　クラウドを対象としたID管理」の導入実態が上がった。新規導入予定として、「アクセスコントロール」、「テナント識別」のスコアが高いことは、認証・認可への関心の高さが伺え、良い傾向と捉えられる。

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# 報告E　検討や導入を進める上で直面した課題

# 設問内容について

1. ID統制　（例 ID管理、SSO、アクセスコントロール）
2. デバイス統制・保護（例 デバイスの機能制限、紛失時の対応、ポリシーやアプリケーションの一斉配布、マルウェア検知・遮断、監視機能、攻撃を受けた後の対応）
3. ネットワークセキュリティ　（例 アプリケーション単位の接続制御、アクセス制限、SSL復号機能、マルウェアの検知、シャドーITの可視化、同一SaaS内での組織用と個人用のテナントを識別）
4. データ漏えい防止　（例 機密情報の不正な取り扱い防止、機密ファイルやメールの暗号化とアクセス制御）
5. ログの収集・分析　（例 あらゆる機器からのログ集約と可視化、収集したログの分析）

各要素それぞれに対する課題（下記10課題）を5段階評価にてお答えください。

## 課題

□上層部の理解　□連携対象側の部門との合意　□予算
□ベンダー（ソリューション）の選定　□連携対象のシステム側の人材
□人材（導入・ゼロトラストセキュリティの知見）　□人材（ポリシーの策定、改変）　□人材（運用・教育）
□人材（PM）　□全体的なアーキテクト

1.課題はなかった　2.さほど難しくない　3.やや難しい　4.難しい　5.非常に難しい　他.把握はしていない

# 10課題間比較　要素5グループ

10課題グループ内での　要素5グループ感比較　2022-2023

# 報告E　検討や導入を進める上で直面した課題

## まとめ

1. 10課題別で5要素を集計したところ、下記の傾向が見て取れた。課題感の難易度、
   1位　ID統制｜人材（PM）
   2位　ネットワークセキュリティ｜人材（導入・ゼロトラストセキュリティの知見）
   3位　ログの収集・分析｜人材（ポリシーの策定、改変）

   と、「人材」に関してスコアが高く、導入時のハードルとなり得る。

2. 前年との比較

   全体的に「難しい」との認識に傾向が寄った。また、　人材（PM）　に関して、課題と感じるスコアが上昇。

## 考察

1. 昨年に続き、他と比べると最も課題感スコアが低い「上層部の理解」に関しても、60%以上の方が、

   “やや難しい”から“非常に難しい”と回答されている。“ゼロトラストセキュリティ戦略”の重要性を引き続き発信する必要がある。

# 目次

1.事前調査
基本属性
アンケート対象者
業種
事業規模別所属部署
事業規模別所属部署　割合

報告A ゼロトラスト認知・認識
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名未満社勤務
・ゼロトラスト認知・認識　業種別割合：従業員規模100名以上社勤務
報告A-2 ゼロトラスト認知・認識
・ 3業種(製造、医療・福祉、サービス)×10職種　2022-2023比較

2.本調査
基本属性
アンケート対象者

報告B クラウド・オンプレ利用状況
・クラウド・オンプレのシステム導入数　従業員規模別
・システムの管理状況

報告C ゼロトラストセキュリティ意識・実態調査
・ゼロトラストセキュリティ5要素　意識調査
・ゼロトラストセキュリティ導入状況　要素別
報告C-2 導入、未導入比率
・5業種(医療・福祉、サービス、製造、情報通信、金融・証券・保険)

報告D ゼロトラストセキュリティ5要素　導入状況別　今後の予定
・導入/未導入要素別　今後の予定

報告E 検討や導入を進める上で直面した課題
・要素5グループ間比較　10課題
・10課題間比較　要素5グループ

# さいごに

近年のクラウド利用の促進や、コロナ禍以降リモートワークが急速に普及するなど、情報資産を取り巻く環境は絶えず変化し続けています。デジタル化ならびにDXの波は、ロケーションやタイミングに捉われずに人やモノが情報とコンタクトを行える状態を実現させ、私たちの暮らしをフレキシブルでより豊かなものにしてきました。
一方で、不正アクセスや情報漏えい等のセキュリティリスクも増加傾向にあります。ネットワークの内側は安全、外側は危険という考えをもとにしたアーキテクトでは十分な安全性を担保出来なくなってきている現状から、2010年ごろに提唱されていた、ゼロトラスト「無条件には信用せず、全てにおいて確認する」という概念への注目が高まりました。

そのような中、2022年、安全にシステム活用が推進され、結果としてDXが加速されることを目指し、ゼロトラストアライアンス・ジャパンは発足されました。
この度、日本国内におけるゼロトラストセキュリティに関する認知、認識、実態を把握するために行った本調査が、DX推進を行われております皆様の一助となれば幸いです。

ゼロトラストアライアンスジャパン
ZTAJ事務局　2024年1月12日

## ZTAJ申込について

当アライアンスでは、ゼロトラストに関する知見を持った様々な企業様にご参加いただいております。引き続き、1年を通して新規メンバーを募集しております。団体の活動などご興味のある企業様、また、ご参画、ご協力いただける方は、本セッションのアンケートフォームや、ZTAJのHPに設置しておりますお問い合わせフォームよりご連絡ください。
“ゼロトラスト“戦略に際しては、進捗、会社規模、経営層の考え方がそれぞれ違う中で、各社各様、様々な課題を持たれていると思います。一助となるよう、今後も活動を続けてまいります。　※ゼロトラストアライアンス・ジャパン（ZTAJ）のWebサイト　https://ztaj.jp/

## 本セッションの資料について

今回ご紹介した資料に関しては、アンケート回答後DLが可能になります。また、より詳細なレポートに関しては、ゼロトラストアライアンス・ジャパンのHPにて随時公開を予定しております。